

03 五感リハビリ倶楽部茶屋町 OPEN



今後の認知症ケアへの抱負

認知症対応型デイサービス「五感リハビリ倶楽部茶屋町」が6月1日にOPENとなりました。リハケアタウン北館内の百年煌倶楽部茶屋町（重度対応余暇型リハビリ）と共に、通所介護による支援の質を一層高めていくことが可能になります。

創心會では、本社茶屋町の他、倉敷市笹沖、玉島、岡山市岡南、益野、瀬戸内市邑久、広島県福山市新涯へと、現在7事業所の認知症対応型デイサービスを開設しています。

ぜひ最寄りの事業所を見学いただき、認知症介護についてご相談にのらせていただきたいと思います。

五感リハビリ倶楽部
3つのおススメポイント

① 認知症の方の個別ケアを考えた環境づくり

認知症の方は、周囲の情報を捉えることが難しくなっており、それが感情の表出や周辺症状に影響していることがあります。五感リハビリ倶楽部では、少人数制であることに加え、室内・室外空間にも心を落ち着かせていただく居場所があります。

毎日、リアリティオリエンテーション（見当識訓練）を実施していることも特色です。

② 認知症ケアの専門知識を得たスタッフがいます

認知症介護の実践には、通常の介護技術に加え専門知識が必要です。認知症対応型デイサービスには、そのための研修を受けた職員が常駐しているので安心です。

加えて、リハビリ知識も豊富です。自立訓練や介護予防ニーズもお任せください。

③ 脳の健康を維持増進するリハビリを提供します

脳はさまざまな情報を五感で感知し、その人の心やその人らしさに働きかけています。五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）の感覚受容器をケアし、脳への情報入力を高めるリハビリを提供することで、脳の健康を維持増進することができます。



管理者
浦道さんの
思い

認知症介護10年の経験から、認知症の方を献身的に支えているご家族の想いに添う介護も大切にしています。認知症があっても末永く住み慣れた家で暮らすことを望まれる方に、相談会や家族会なども企画しています。閉じこもりの防止、外出へのリハビリとしても五感リハビリ倶楽部をきっかけにしていだければと思います。

04 フリーマーケット開催

出店無料 出店者大募集! お気軽に
お電話ください 受付 TEL **086-420-1500**
(フリーマーケット実行委員)

平成27年7月11日(土) 10:30~14:00

ご家庭で不要なもの手作り品などを出店してみませんか♪
皆様のご参加をお待ちしております!

場所	創心會リハケアタウン 東館駐車場	出店不可のもの
出店スペース	2.5m×5m	飲食品・お酒・煙草・医薬品・ 偽ブランド品・ソフトウェアの コピー・高額商品
申し込み〆切	7月3日(金)	



心
創から
創から



五感リハビリ倶楽部益野 園芸療法のひとコマ

笑顔が集まる まち タウンを目指して

- 01 地域の皆様との交流が出来ました
 - 02 就労継続支援 B 型 事例紹介
 - 03 五感リハビリ倶楽部茶屋町 OPEN
 - 04 フリーマーケット開催
- リハケアタウン東館
内覧会の報告

PRIDesign powered by Souchinkai 2015 - No40
2015年7月40号平成27年6月1日発行
編集・発行 株式会社創心會 広報部
株式会社創心會
岡山県倉敷市茶屋町2102-14 〒710-1101
TEL: (086) 420-1500 FAX: (086) 428-0946
URL: http://www.soushinkai.com

01

リハケアタウン東館 内覧会の報告



地域の皆様との交流が出来ました

平成27年5月12日～15日にリハケアタウン東館内覧会を開催しました。12日、14日、15日の3日間は地域の方を対象とし、13日はケアマネジャーの方を対象にした企画をさせていただきました。

今回の内覧会の注目点は、リハビリ倶楽部茶屋町の施設コンセプトでした。この度は、心身機能の向上から活動・参加の促進をテーマにした、サービスメニューをご紹介しました。また、新たな空間として地域の方々の交流スペースとなり、障がい者の模擬的就労活動を行う、カフェバーカーリーのスペースも見学していただきました。イベントとして先着50名の方に、そのカフェバーカーリーで提供するパンをプレゼントし、ドリンクと召し上っていただきながら見学のご感想をうかがいました。生活機能向上、そして生活の質的向上に向けた、より広い意味でのリハビリ特化型デイサービスという認識をしていただけました。

当日は弊社の居宅介護支援センターのケアマネジャーと共に、ご来場者様の介護相談にもお答えしながら、事業所の特徴をご紹介させていただきました。また2階に併設している訪問看護リハビリステーションやヘルパーステーション、福祉用具・住宅改修事業所との連携も含めた、包括的ケア施設というご理解をいただけたのではないかと振り返っております。

15日には、ご利用者様で形成されたピアグループ「スイーツ倶楽部」の皆さんが登場されました。なんと、その場でお菓子を作り、ご来場の方に試食していただきました。前述の模擬的就労活動や、生活機能の向上を促進する活動・参加メニューのイメージを感じ取っていただけたようです。



おかげさまで、4日間で約200名のご来場をいただき、大変盛況に内覧会を終えることができました。ご来場の皆様との交流から、私たちの気が付いていないことや課題も解り、オープンに向けての準備に取り組むことができました。(無事、6月1日付で、百年煌俱樂部茶屋町、五感リハビリ倶楽部茶屋町もオープンすることができました。)オープン後の様子も、ぜひ見学いただければと思います。心よりお待ちしております。



02

就労継続支援B型 事例紹介



※未来想造舎 和一久とは？

障害者自立支援法に基づく就労継続支援の場。雇用型の就労継続支援A型と非雇用型の就労継続支援B型があり、雇用の加工はB型事業所が担っています。社会参加の場としての役割もあります。

体験実習に「参加」をとおして 社会への参画をはかっています



未来想造舎和一久では、「参加」への支援として、障がいを持たれた方の就労の支援を行っています。現在、9名の方が、介護保険サービスを卒業、または併用しながら「就労」に取り組まれています。

4月に入り、和一久ステップ茶屋町B型に新たな顔ぶれが仲間入りしました。現在3名の方が体験実習に参加くださっています。そのうち2名の方は、介護保険サービスと併用しながらの就労を希望されている方です。年代も様々で、40歳代の方、70歳代の方、30歳代の方が来られています。



40歳代A様

40歳代A様は、脳卒中により半身に麻痺が残り、リハビリに取り組んでおられましたが、少しずつ身体機能も回復し家族のために自分もできることをしなければ、という思いを持たれていました。創心會のケアマネジャーの勧めにより和一久ステップ茶屋町を見学され、就労に向かっていくことを決意されました。元々社交的な性格もあり、すぐに仲間の中で馴染んで作業に取り組んでくださっています。



70歳代B様

70歳代B様は、現在リハビリ倶楽部陵南を利用されていますが、ご自身の中で、「リハビリを何の目的でやっているのか、やっぱり自分にできる事を少しでもやれるようになるためじゃろ。働ける場所があるんであれば働きたい。それでこそリハビリをやっている意義じゃと思う。」と意気込んで体験実習に来られました。たとえ年齢を重ねても、「何か役割をもって誰かの役に立ちたい」という思いに、私達支援者もしっかりとお答えしていかないと感じています。



日頃、介護保険サービスを「利用者」としてご利用されている方が、和一久ステップでの就労では、はさみやほうきを手に、ご自分の能力を最大限に使いながらしっかりと仕事をされています。

私達専門職の想定を超えた難易度の作業でも、ご自分なりに工夫をしながら、一生懸命に覚えながら取り組まれています。そのイキイキとした姿に私達も刺激を受け、障がいがあっても「できる」こと、その可能性を見つけ、より多くの方に社会参加していただけるよう支援の輪を広げていきたいと考えています。